

いわてV.G通信

【発行】盛岡市中ノ橋通一の一〇〇プラザおでつて4F
【編集】岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会事務局
(公益財団法人盛岡観光コンベンション協会内)
担当：観光振興グループ



盛岡手づくり村
特産品消費拡大支援
30% OFF
キャンペーン



令和2年度統一的研修開催 コロナニモ負ケズ

盛岡と小岩井で 会員43名が元気に研修

岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会恒例の「統一的研修会」が、去る十一月十六日、今期のホストタウン、盛岡市を中心に開催。県内12団体43名が集い、新型コロナウイルス対策のもとガイド研修に臨み旧交を温めた。

今回の統一的研修は当初7月実施を見込んで事業計画し、施設手配など準備に入っていたが、新型コロナウイルス感染症第一波等の度重なる襲来により、内容と構成を仕切り直し、恒例であった総会・懇親会を伴う一泊二日の日程を大幅変更。「盛岡の代表的な周遊地を盛り込んだ形での研修会としたい」という盛岡ふるさとガイド側の意向をもとに調整。当初計画に盛り込んだつなぎ温泉や盛岡手づくり村を割愛するなどし、7時間の日帰り日程に凝縮させ、ようやく実施に漕ぎ着けた。統一的研修の当日は曇りに時折陽が差す肌寒い



下の橋擬宝珠前にてガイドを受ける参加者

天候の中、午前9時前には県内のボランティアガイド会員が続々と集合。プラザおでつて2Fロビー特設受付にて、手指消毒や検温など一連の受付を済ませた班から順次、出発時刻の9時30分を合図に、第一研修「中津川と盛岡城コース」に向けて全4班に分かれ、盛岡ふるさとガイド引率でツアーに出発。このコースは、盛岡ふるさとガイドAコース「啄木・賢治青春の道」と「岩手公園コース」に手を加えた特別コース。一行は各班ごとに新渡戸稲造生家跡や賢治の井戸清水、更には盛岡城本丸など、中津川兩岸に点在する見所を巡り実地研修。参加者からは、「用事で来ることがある盛岡だが、いつもはとんぼ返り。今日は、ガイドさんの中津川での子供時



「牛はリラクセスした環境で育てるのが大切」

一日で2コース 駆け足でめぐった盛岡の旅

代の川遊び体験談など、この地のガイドならではの話も聞けた。都会のガイドコースという印象も受けた。などの感想も盛岡ふるさとガイド広報班も所要所で研修風景や集合写真などを撮影。交通安全などにも配慮しつつ研修は順調に進行した。前半の第一研修が終了すると、一行はバスに分乗し、盛岡城の歴史についての車中ガイドを受



全員で記念撮影(小岩井農場・牛丸牛舎前)



和風ハンバーグ弁当

厳選した素材で知られる山麓館農場のレストラン名物の和風ハンバーグ弁当。レスもおなかいっぱい食べることができた。という声もあり大好評でした。

山麓館ランチタイム

トランはコロナ対策のため、アクリル仕切りの清潔なテーブルでの会食。全員まずは会話を慎み食事に集中、「静かな」ランチタイムとなったが、「ハンバーグがおいしくおなかいっぱい食べることができた。」という声もあり大好評でした。



自由放牧の牛舎は搾乳まで一貫したルート設計

けながら、一路、郊外を抜け小岩井農場へ。今回のバスは55人乗り大型バスに20名余りが二台に分乗、二人掛け座席に一名ずつが交互に着座する新型コロナウイルス対応新型コロナウイルス対応乗車も経験。かわって昼食後の第二研修は、産業観光まちづくり大賞「観光庁長官賞」など多数受賞のガイド付きバスツアー「小岩井農場めぐ

り」に臨んだ。このツアーは、現役で使用している重要文化財21棟を保有し、自らもイコモス20世紀遺産である小岩井農場が、バイオマス発電など先進の施設も併せて案内する人気のツアー。今

回参加の観光ボランティアガイドにとっても、民間のプロのガイドを観察し体験する好機ともなった。乗り込んだ小岩井農場のガイドは、明治開拓時代のコスチュームで自己紹介。コースは、本部棟から始まり、農場誕生由来の旧網張街道、農場生え抜きの乳牛を搾乳する上丸牛舎、天然冷蔵庫など、重要文化財群をバスに消毒のシャワーを浴びつつ進行。飼育される動物の排泄物を微生物発酵させたガスで発

注目 使ってみました！ トラベルイヤホンでコロナ対策を



距離を保ち明瞭案内(画像:(株)エアサーブ)

今回は、新型コロナウイルス感染症対策として、ガイドが客との一定の距離を保ちながら明瞭な音声で引率できる無線機「トラベルイヤホン」を体験することも大きな目玉の一つ。最初はチャンネル合わせや音量確認などわずかに手間取ったが実際の路上街頭でのスムーズな聞き取り・意思疎通を参加者は体験した。「最低音でも少し音量が高く感じるほどで、ガイドさんに近づかなくても音

距離を保って ガイドもお客も安心

声が聞こえるので景色を見ながらゆっくり散策できた。」などの感想も聞かれた。元々は空港や工場見学や登山などに、一定の人数を引率する場面用に開発された機器で、通信距離は半径100m以内、電池は15時間以上持続可能、デジタル通信方式により音声は明瞭で聞き取りやすい。また、通信は、16チャンネルから選べ、混雑する現場で複数班混在のガイド時でも混信しない。◆問合せは、北日本通信株式会社(盛岡市) morioka-1@kitanihon-t.co.jp ☎019-652-5000 担当:菊地様



農場内のガス発電施設

農場内で発生の排泄物を発酵 ガス発電と肥料で循環利用

電する一方で完熟堆肥を同時製造するバイオマスパワー施設等を見学し終了。ガイドは、農場の今昔を多彩な資料とユーモアを交えた巧みな話術で魅了し、「初めて見た場内にびっくり。なつかしさと大変さを感じました。」

「今まで見たこともない施設に感激。建物が今でも現役使用という点も驚き。」「地元の宝として内外の方々に伝えたい。」など参加者からは大きな反響があった。この後、バスは盛岡駅西口バスロータリーを経由し盛岡市内丸のりにおか歴史文化館前に到着、ツアーを散会した参加者らは再会を約束しつつ、それぞれ帰途についた。

あとがき

新型コロナウイルス感染症の拡大に翻弄された事務局業務で、皆様には総会、研修会共に大幅に事業執行が遅れました事、この場をお借りしお詫び申し上げます。本来であれば奥座敷つなぎ温泉郷での楽しい懇親会などお楽しみ頂きたかったのですがお赦し下さい。ワクチン接種等、環境の好転を待ちつつ来春からの東北デイスティネーションキャンペーンなど大型イベントに備えましょう。(T)